

習志野市立第二中学校 美術科 第3学年 シラバス

【学習の目標等】

表現や鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を広げ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる能力を身につける。

【評価の観点及び内容、方法】

観点	内容	方法
知識・技能	形や色、材料や光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解しているか。また、材料や用具の生かし方などを身につけ、意図に応じて工夫し表現することができるか。	デザイン案 制作過程 作品
思考・判断・表現	対象や事柄を見つめ、感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っているか。美意識を高め見方や感じ方を深めている。	クロッキー帳 デザイン案 制作過程 作品 鑑賞シート
主体的に学習に取り組む態度	創造活動を行う中で、自身の感情や考えたことなどを基に表現の活動に主体的に取り組んでいるか。	授業への取り組み 提出物の内容 作品 鑑賞シート

【教科担任からのメッセージ】

(1) 美術科の学習について

表現することを楽しみ、結果としての作品をお互い大切にしていきましょう。

(2) 授業の持ち物

教科書・鉛筆（B～3B程度）・クロッキー帳・課題に応じた画材、材料

(3) 授業の進め方・学習のポイント

授業開始と同時に制作が出来るよう授業前準備を心がけましょう。美術は作品と向き合う時間です。集中する空間を作りましょう。

(4) 家庭学習について

授業内で終わらなかった課題は、家庭学習で進めるようにしましょう。

【学習計画】（週時間数 1 時間）

	題材・学習内容	学習のねらい
前期	【美術ガイダンス】 ・美術のルールや評価について 【想像画】平面作品 ・デザイン案（色鉛筆で色付けまで） ・下描き ・着色 【鑑賞】 ・想像画鑑賞	・美術の授業のルールや評価を理解し、主体的に取り組むことができる。 ・自身の夢、想像や感情など心の世界をもとに主題を生み出すことができる。 ・自分の意図に沿って表現できるよう、描画材を工夫しながら制作する。 ・モチーフをよく観察し、その物の特徴を捉えて細部までこだわって描くことができる。 ・作品の造形的な良さや美しさ、また作者の心情や表現の工夫などについて考え見方や感じ方を広げる。
後期	【篆刻（自分の印づくり）】立体作品 ・印面のデザイン案 ・印面の制作 ・持ち手のデザイン案 ・持ち手の制作 【鑑賞】 ・篆刻作品鑑賞	・機能美と面白さなどとの調和を考え、デザインすることができる。 ・材料や道具の生かし方を身につけ、自分の意図に沿って表現し、制作の順序など考えながら見通しを持って表現することができる。 ・作品の造形的な良さや美しさ、また作者の心情や表現の工夫などについて考え見方や感じ方を広げる。